

講演者

切らずに治す最先端治療 — IVR (画像下治療) とは —

附属病院長 中央放射線部長
IVRセンター長 吉川 公彦



講演概要

IVR (画像下治療)とは、X線(レントゲン)やCT、超音波などの画像を使って体の中を透かして見ながら、細い医療器具(カテーテルや針)を入れて、病気を治す最先端の治療法です。外科手術のようにおなかや胸を切る必要がないので、傷が小さく、治療時間や入院期間も短いため、患者さんの体に優しいのが最大の特徴です。

本講演では、動脈閉塞(つまる)や動脈瘤(ふくれる)、がん、子宮筋腫などの治療におけるIVR(画像下治療)の実際についてお話させていただきます。

Profile

1980年	奈良県立医科大学 放射線科 入局
1983年	奈良県立医科大学 放射線医学 助手
1991年	米国 Oregon Health Sciences University 留学
1997年	奈良県立医科大学 放射線医学 講師
2000年	同 助教授
2001年	同 教授
2014年	同 教授・IVRセンター長
2020年	奈良県立医科大学 附属病院 病院長

学会活動

日本血管内治療学会理事、日本静脈学会理事
日本下肢救済・足病学会理事、日本医学放射線学会監事
日本インターベンショナルラジオロジー (IVR) 学会代議員
日本脈管学会監事